

# 独身者データと既婚者の振り返り データを用いた結婚の決定要因に 関する経済分析

鈴木 亘

(学習院大学教授)

小島宗一郎

(内閣府経済社会総合研究所上席主任研究官)

本論文は、内閣府経済社会総合研究所が2024年に企画・実施した「[少子化・女性活躍の経済学研究]に向けたアンケート調査」を用いて、男女別に結婚の決定要因を分析した。このデータは、個人属性や結婚の環境・意識に関し、数多くの変数を有することに特徴がある。また、既婚者については配偶者との交際当時の状況を振り返るデータとなっており、独身者と既婚者が比較可能になるように設計されている。プロビットモデルの推定結果からは、男女ともに、実に数多くの変数が結婚に影響することがわかった。一番大きな発見は、男女に共通する結婚の決定要因が驚くほど多いことである。すなわち、男女ともに結婚確率が上がる要因として、正規雇用、所得の高さ、希望子ども数が多いこと、両親の夫婦仲が良いこと、職場・学校で毎日顔を合わせる独身の異性の数が多いこと、同棲経験があること等がある。一方、結婚確率が下がる要因は、肥満・太り気味、一人子、所得の低さ、転職の可能性がある職場にいること等である。婚活についても、男女に共通して効果のある活動、ない活動が明確になっている。これらのエビデンスに基づいて政策を立案すれば、実効性の高い未婚対策（結婚支援策）になる可能性が高い。また、結婚行動に関する諸仮説のうち、女性の機会費用仮説が概ね支持される一方、時間的制約仮説は支持されなかった。パラサイト・シングル仮説については、男性が支持される一方、女性は支持されない結果となった。

## 目次

- I はじめに
- II データ
- III 分析モデル
- IV 分析結果
- V 結語

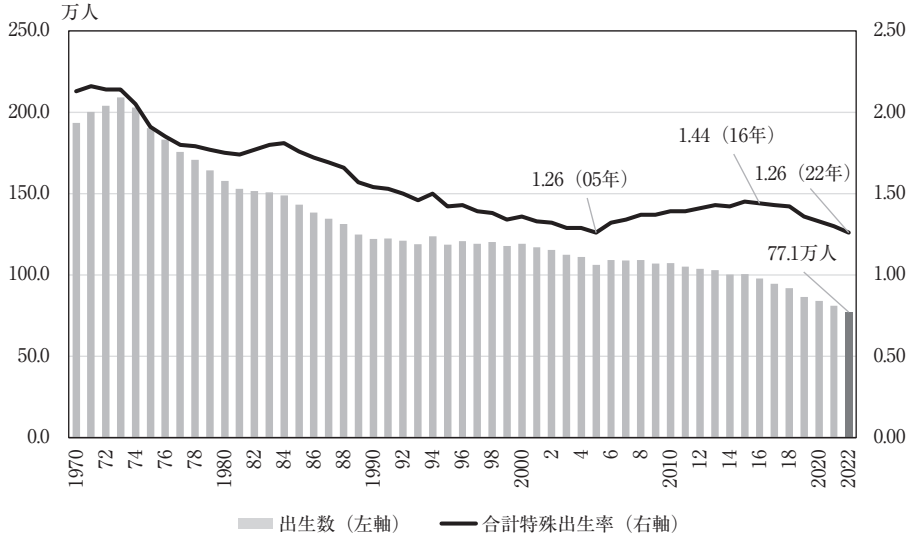
## I はじめに

厚生労働省の『人口動態統計』（確定数）によれば、2022年の我が国における日本人の出生数は77万759人と、前年の81万1622人から4万

863人減少し（減少率5.0%）、過去最低数を更新した（図1）。2023年の出生数も、まだ外国人含む速報値であるが、前年を5.1%下回る結果となっており、少子化の進行に全く歯止めがかからぬ状況が続いている。こうした中、政府は2024年4月に、児童手当の対象拡大や増額、所得制限の撤廃、育休給付金の支給率引き上げ、こども誰でも通園制度の創設等から成る子ども・子育て支援法改正を行い、異次元の少子化対策と銘打つ大型対策に着手したところである。

ところで、少子化は結婚した夫婦の出生率が低下する問題と捉えられがちであるが、実際には結

図1 出生数と合計特殊出生率の推移



出所：厚生労働省『人口動態統計』（各年版）より。

婚した夫婦の出生率（完結出生子ども数）は1.90（2021年、国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」とかなり高い。静止人口を達成するための合計特殊出生率は2.06とされるから、1.90との差はわずかである。実は、2.06と現在の合計特殊出生率1.26の間に大きな差が生じる主因は、未婚化にあると考えられる。我が国は非嫡出子の割合が約2%と小さく、伝統的に結婚しないと子どもを出産しない文化なので、未婚化は非常に深刻な問題である。少子化に歯止めをかけるには、まずは未婚率上昇の要因をきちんと解明し、そのエビデンスに基づいた実効性ある未婚対策（結婚支援策）を実行することが重要である。

しかしながら、我が国においては、少子化に関する先行研究は数多く存在するものの、結婚や未婚に関する分析は、特に経済学の分野において手薄と言わざるを得ない。Becker (1973) に始まる経済学の標準的理論では、女性の社会進出が進み、結婚や出産に対する機会費用が高まったことが、未婚率上昇の要因とされる。我が国においても、樋口・阿部 (1999)、高山ほか (2000) など、多くの研究がこの機会費用仮説を実証的に支持している。また、親と同居している場合に、その経済面・物理面の居心地の良さが、一種の“留保賃金”として結婚の障害になるという見方がある (山田 1999)。このパラサイト・シングル仮説につ

いては、北村・坂本 (2007) が支持する結果を示しているのに対し、森田 (2008)、鈴木 (2024a) は支持できないとしており、結論が得られていない。一方、我が国において比較的多くの先行研究があるテーマは、所得や雇用状態と結婚の関係についての研究である。すなわち、特に男性において雇用が不安定な非正規社員の場合には、正規社員に比べて結婚が難しいことや、低賃金・低所得の場合に結婚が困難となること、数多くの研究で報告されている (永瀬 2002; 酒井・樋口 2005; 水落 2006; 佐々木 2012; 内閣府 2023; 鈴木 2024a)。そのほか、これは経済学というよりは社会学や人口学の研究であるが、異性と出会う機会の多さや交際を仲介するマッチング・メーカーの重要性を示す研究 (岩澤・三田 2005) や、異性と交際に充てる時間的制約が結婚の障害となる (時間的制約仮説) という研究もある (中村・佐藤 2010; 松田ほか 2015)。もちろん、これ以外にもさまざまな要因が結婚行動に影響を与えていると考えられるが、それらのさまざまな要因を同時にコントロールした上で、真の決定要因を探り、各要因の影響の大きさを定量評価する包括的な実証研究を行っている例はほとんど存在しない。しかしながら、エビデンスに基づく政策立案 (Evidence Based Policy Making: EBPM) を実施するためには、こうした包括的アプローチが不可欠と言える。

このような問題意識から、最近、鈴木（2024a）は著者らが以前、独自に実施したアンケート調査を用いて、本稿と類似するアプローチで分析を行い、女性のみではあるがさまざまな変数が統計的に有意となることを報告している<sup>1)</sup>。ただし、用いているデータは2008年実施のものでかなり古い。また、郵送法で実施しているため、サンプル数も独身者576、既婚者535と少ない<sup>2)</sup>。そこで本稿は、鈴木（2024a）のアプローチを踏襲しつつも、2024年3月に実施した最新かつ大規模なデータを用いて、さまざまな結婚の決定要因を同時にコントロールした包括的実証分析を、男女別に実施することにした。

以下、本稿の構成は以下の通りである。Ⅱでは、本稿で用いるデータの説明を行う。Ⅲでは、仮説と分析モデルを提示する。Ⅳでは、記述統計によって、独身者と既婚者の簡単な比較を行った上で、既婚者と独身者のデータをプールし、結婚の決定要因に関する回帰分析を行う。Ⅴは結語である。

## Ⅱ データ

本稿で用いるデータは、内閣府経済社会研究所が2024年3月に実施したアンケート調査（「少子化・女性活躍の経済学研究」に向けたアンケート調査）である。筆者らを含む少子化・女性活躍の経済学研究研究会（主査：八代尚宏・昭和女子大学特命教授）が調査票を企画し、調査会社<sup>3)</sup>の大規模モニターサンプル（独身者男女と既婚者男女）に対して、インターネットでアンケートを実施した。対象年齢は25歳から49歳であり、対象地域は全国である。具体的には、2023年1月1日現在の住民基本台帳人口を用いて、都道府県別×男女別×年齢5歳階級別の目標回収数を母数割合に等しくなるように割り付け、その目標数を満たすように回収期間を設定した<sup>4)</sup>。実際には独身者、既婚者ともに目標数よりも多めに回収し、①回答時間が短いもの<sup>5)</sup>、②ストレートライニング、④いくつかの重要な質問で回答が矛盾するサンプルを除いている。最終的な回答数は独身者1万、既婚者1万である。

この調査の特徴は、極めて多くの個人属性や結婚に対する環境、意識を尋ねていることである。具体的な諸変数については、次節で詳しく述べるが、独身者と既婚者間の比較を可能にするため、既婚者については過去の振り返りデータにしている。つまり、既婚者の質問を、「現在の配偶者と交際を開始する少し前の状況」や「現在の配偶者と交際を開始した頃の状況」、「現在の配偶者と結婚を決めた時の状況<sup>6)</sup>」について回答してもらっている。独身者はもちろん、アンケート調査時点の状況を回答してもらっているが、既婚者もなるべく、独身者と近い状況の時点での回答をしてもらっているため、どのような人々が既婚者になるか、独身者になるかという分析が可能になると考えられる。

## Ⅲ 分析モデル

本稿の分析手法はいたってシンプルで、被説明変数として既婚者を1、独身者を0とするプロビットモデルを、さまざまな個人属性や環境・意識変数を説明変数として推定するものである。結婚の決定要因に関しては既に述べたように、経済学や社会学、人口学等の分野で、さまざまな理論モデル、実証モデルが存在する。岩澤・三田（2005）に倣って整理すれば、それらは、①供給面、②需要面、③マッチングの環境・経路の3つ要因に分類される。

### 1 供給面

供給面の要因とは、潜在的な交際相手、結婚相手からみた分析対象の魅力を表す変数である。まず、外見の自己評価として、身長高い・やや高い（5段階評価のうち、上から2つが1、残りが0）、肥満・太り気味（5段階評価のうち、下から2つが1、残りが0）というダミー変数を作った。身長に関しては、女性の場合ははっきりしないが、男性の場合には一般的に高身長が好条件とされる。長男・長女や一人子に関しては、両親の資産の相続可能性が高まるという意味では魅力があるが、将来、両親の介護をする可能性も高まるので、係数は正負両方の可能性がある。また、さまざまな家

事能力も尋ねているが、家事ができるほど結婚相手としての魅力が増すと考えられることから、これらの変数は正の符号が期待できる。

雇用形態についても詳しく回答を得ているが、それらを正規（正規社員）、非正規（パート・アルバイト、派遣・嘱託・契約社員、個人業務請負・フリーランス・ギグワーカー・内職、日雇い）、自営（自営業主・家族従業者）、無職（無職・家事）の4つの変数にまとめ、無職をベンチマークとするダミー変数とした。男性については無職に比べ、職を持つ方が魅力的なので、係数は全て正の符号が期待される。また、所得獲得能力が高く、雇用が安定している魅力があるため、正規の係数が非正規に比べて大きいと考えられる。女性についても基本的には男性と同様であろうが、伝統的価値観で専業主婦を望む男性が多ければ、有職の係数は負の符号になるかもしれない。

## 2 需要面

もっとも、雇用形態に関しては需要面、つまり、本人の結婚需要の変数とみることでもできる。例えば、安定的な雇用であるほど、結婚資金や結婚後の安定的な生活が期待できることから、結婚需要が高まる可能性がある。他に需要面として重要なものは、女性の場合、機会費用に関する変数がある。機会費用を表す変数としては、まず、学歴大卒以上、所得、資産、これまでの仕事の経験年数が挙げられる。機会費用仮説が正しければ、これらの説明変数の係数は負の値となるだろう。もっとも、所得や資産については、それが高いほど結婚需要が高まったり、供給面で魅力が大きくなるという要素があるため、係数が正となる可能性もある<sup>7)</sup>。もちろん、男性の場合には結婚、出産で仕事を辞める可能性は低いため、機会費用仮説が当てはまる可能性は低く、これらの変数は供給面の魅力や結婚需要の大きさを表す変数とみるべきだろう。また、時間的制約仮説をみるための変数としては、労働時間（週当たり労働時間）、通勤時間（1日の片道通勤時間（分））の他に、早朝勤務あり（5時～8時）、夜間勤務あり（20時～22時）、深夜勤務あり（22時～翌5時）、土曜出勤あり、日曜・祝日出勤ありといったダミー変数があ

る。仮説が正しければ、これらの係数は負の符号になるだろう。転勤可能性についても、交際や結婚後に物理的制約が生じるため、負の係数が予想される。希望子ども数については、男女ともに、子どもがたくさんほしい人ほど結婚需要が高いと考えられる。親との同居は、既に述べたパラサイト・シングル仮説をみるための変数であり、仮説が当てはまれば負の符号が予想される。さらに、結婚して家庭を作ることに憧れがある場合には、結婚に対する需要が高まるはずである。家庭に対する憧れは、身近なロールモデルである両親の姿から生じる可能性が高いため、両親のデモンストレーション効果として、15歳時点で片親あるいは両親がいない場合、15歳時点で両親の仲が良い（5段階評価で上から2つが1、残りが0）というダミー変数を用いる。さらに、結婚相手に求める条件も重要な変数である。アンケートでは、さまざまなカテゴリーについて、相手への希望条件を尋ねているが、それぞれに全く気にしないと回答した場合に1、それ以外に0をとるダミー変数を作った。相手に求める条件にこだわりすぎると、マッチングが難しくなると考えられることから、正の符号が予想される。

## 3 マッチング環境・経路

マッチング環境・経路についても数多く変数がある。具体的には、①職場・学校の異性人数、紹介・見合いの異性人数のほか、②これまでに経験のあった紹介や出会いのルート（上司からの紹介、仕事上の取引先からの紹介、同僚からの紹介、職場以外の友人からの紹介、家族や親せきからの紹介、結婚相手紹介を目的とする事業者等のイベントへの参加、お見合い（上司、家族・親せきからの紹介を除く）、マッチング・アプリやインターネットの出会い系サイト、学生時代の出会い、職場での出会い、紹介や出会いはなかった）、③過去1年間に行った出会いの可能性のある活動（習い事、ボランティアなどの社会活動、職場の同僚・上司などとの仕事以外でのつきあい、友人とのつきあい、趣味やスポーツのクラブ活動・サークル活動、英会話や資格取得の専門学校、その他の活動、上記のような活動はなし）、④これまでに経験した結婚サービスの利用

(結婚相談所や勤め先によるお見合いや結婚相手紹介サービス、地方自治体やNPO主催による出会い事業、マッチング・アプリやインターネットの出会い系サイト、交際相手との出会いを目的とするパーティーやイベント、自分の結婚観や異性のつきあい方のアドバイス・カウンセリング、その他のサービス利用あり、いずれのサービス利用もなし)、などがある。これらは基本的には、結婚機会を高めるものなので、正の係数が予想される。また、共学に比べて男子校・女子校の場合には出会いの場が少なかったり、異性とのコミュニケーションの訓練が不足しがちなことから、男子校・女子校の経験(中学、高校、大学、ずっと共学)は負の係数を予想している。さらに、同棲経験の有無に関するダミー変数も正の係数を期待している。八代(1993)が指摘しているように、同棲経験があるほど、交際相手への情報量が高まり、結婚の決断に結びつきやすいと考えられる。

最後に、年齢の変数であるが、比較の時点近づけるため、独身者は現在の年齢、既婚者は結婚時の年齢をとっている。ただし、既婚者の場合には、結婚時点の年齢が25歳を下回るサンプルがあるため、独身者に合わせて25歳以上のサンプルのみに限った。本稿で用いる諸変数の記述統計は表1の通りである。

## IV 分析結果

### 1 表による比較(女性)

独身者、既婚者別に各変数を簡単に比較しよう。表2は女性についてである。まず、結婚時の年齢は独身者に比較し、既婚者の方が平均して5歳ほど若い。いくつかの変数はこの年齢差が影響している可能性があるため、十分に留意する必要がある<sup>8)</sup>。供給面であるが、身長高い・やや高い者の割合は独身者・既婚者間であまり差がない一方、肥満・太り気味の割合は独身者が顕著に高い。また、一人子の割合も独身者が高くなっている。可能な家事については、全体として、あまり独身者と既婚者で差がないようである。雇用形態については正規の割合が既婚者で高く、一方で非

正規や自営業の割合は独身者が高い。

一方、需要面については、所得も金融資産も独身者が多い。また、これまでの仕事の経験年数についても独身者の方が長い。機会費用仮説に関連して、大卒以上の学歴については、やはり独身者の方が割合がやや高い。労働時間、通勤時間は既婚者の方が長く、平日の日中以外の各勤務も、既婚者の方がやや割合が高くなっている。希望子ども数は既婚者の方が顕著に多い。親との同居割合は既婚者の方がやや高くなっている。15歳時に両親がいない割合は独身者が高く、15歳時の両親の夫婦仲が良い割合は既婚者の方が高い。相手の条件についても、全体として、既婚者の方が気にしないと回答する割合が高い。マッチング環境・経路に関する変数はまちまちであり、全体的な傾向はみて取れない。同棲経験については、既婚者が顕著に高くなっている。

### 2 表による比較(男性)

表3は男性の比較である。女性と同様、結婚時の年齢は既婚者が平均して5歳ほど若いことに注意が必要である。学歴については、女性とは異なり、既婚者の方が大学卒以上の割合が高い。供給面であるが、女性とは異なり、身長高い・やや高い者の割合は既婚者の方が高くなっている。一方、肥満・太り気味の割合は女性と同様で、独身者が顕著に高い。一人子の割合は独身者が高い。可能な家事については、全体として、独身者の方ができる家事の割合が高いようである。雇用形態については予想通り、正規の比率が既婚者で高く、非正規や自営業、無職の割合は独身者で高い。

一方、需要面についてであるが、女性とは異なり、所得は既婚者の方が顕著に高い。他方、金融資産は独身者の方が多。これまでの仕事の経験年数については、女性と同様、独身者の方が長くなっている。労働時間、通勤時間も女性と同様、既婚者の方が長い。平日の日中以外の各勤務も、女性と同様に、既婚者の方がやや割合が高くなっている。希望子ども数は女性と同様、既婚者の方が顕著に多い。親との同居割合は女性と異なり、独身者の方が高くなっている。15歳時に両親がいない割合は独身者が高く、15歳時の両親の夫

表 1 記述統計 1 (全体)

	N	平均値	標準偏差	最小値	最大値
配偶関係 (既婚)	18,949	0.472	0.499	0	1
性別 (男)	18,949	0.517	0.500	0	1
結婚時年齢	18,949	35.9	7.6	25	49
結婚時年齢 2 乗	18,949	1343.9	556.7	625	2401
学歴大卒以上	18,949	0.534	0.499	0	1
身長高い・やや高い	18,949	0.271	0.444	0	1
肥満・太り気味	18,949	0.238	0.426	0	1
長男・長女	18,949	0.651	0.477	0	1
一人子	18,949	0.118	0.323	0	1
兄弟人数	18,949	1.459	0.949	0	5
可能な家事 (掃除)	18,949	0.735	0.442	0	1
可能な家事 (洗濯)	18,949	0.772	0.420	0	1
可能な家事 (食事作り)	18,949	0.563	0.496	0	1
可能な家事 (食器洗い)	18,949	0.790	0.408	0	1
可能な家事 (買い物)	18,949	0.780	0.414	0	1
可能な家事 (整理整頓)	18,949	0.566	0.496	0	1
可能な家事 (アイロンかけ)	18,949	0.384	0.486	0	1
可能な家事 (育児)	18,949	0.132	0.338	0	1
可能な家事 (ごみの分別)	18,949	0.671	0.470	0	1
可能な家事 (子どもの送迎)	18,949	0.158	0.364	0	1
可能な家事 (介護)	18,949	0.083	0.276	0	1
可能な家事 (できる家事は1つもない)	18,949	0.068	0.252	0	1
正規社員	18,949	0.635	0.481	0	1
パート・アルバイト	18,949	0.107	0.310	0	1
派遣・嘱託・契約社員	18,949	0.081	0.273	0	1
個人業務請負・フリーランス・ギグワーカー・内職	18,949	0.027	0.163	0	1
自営業主・家族従業者	18,949	0.028	0.164	0	1
日雇い	18,949	0.001	0.035	0	1
無職・家事	18,949	0.069	0.253	0	1
学生	18,949	0.052	0.222	0	1
正規	18,949	0.635	0.481	0	1
非正規	18,949	0.217	0.412	0	1
自営	18,949	0.028	0.164	0	1
無職	18,949	0.120	0.325	0	1
税込所得 (物価調整済)	18,949	317.4	242.7	0	1676.2
対数税込所得 (物価調整済)	18,949	4.826	2.182	0	7.424
これまでの仕事の経験年数	18,949	9.18	8.06	0	31
金融資産 (物価調整済)	18,949	329.6	502.2	0	3218.2
対数金融資産 (物価調整済)	18,949	4.127	2.433	0	8.077
教育ローン (物価調整済)	18,949	38.2	129.2	0	1117.5
対数教育ローン (物価調整済)	18,949	0.855	1.894	0	7.019
労働時間	18,949	34.7	20.3	0	80
通勤時間	18,949	29.1	24.6	0	120
早朝勤務あり (5時~8時)	18,949	0.141	0.348	0	1
夜間勤務あり (20時~22時)	18,949	0.196	0.397	0	1
深夜勤務あり (22時~翌5時)	18,949	0.133	0.340	0	1
土曜出勤あり	18,949	0.361	0.480	0	1
日曜・祝日出勤あり	18,949	0.288	0.453	0	1
その他勤務あり	18,949	0.034	0.182	0	1
平日日中の勤務のみ	18,949	0.405	0.491	0	1
転勤可能性あり	18,949	0.194	0.396	0	1

続き

	N	平均値	標準偏差	最小値	最大値
希望子ども数	18,949	1.331	1.120	0	5
子ども希望せず	18,949	0.330	0.470	0	1
親と同居	18,949	0.484	0.500	0	1
15歳時点片親	18,949	0.104	0.305	0	1
15歳時点孤児	18,949	0.023	0.150	0	1
15歳時の両親仲が良い	18,949	0.514	0.500	0	1
相手への年齢希望なし	18,949	0.336	0.472	0	1
相手への年収希望なし	18,949	0.452	0.498	0	1
相手への就業希望なし	18,949	0.403	0.490	0	1
相手への学歴希望なし	18,949	0.586	0.492	0	1
相手への身長希望なし	18,949	0.533	0.499	0	1
相手への体型希望なし	18,949	0.247	0.431	0	1
相手への家事能力希望なし	18,949	0.573	0.495	0	1
職場・学校の異性人数	18,949	2.692	2.441	0	6
紹介・見合いの異性人数	18,949	1.132	1.797	0	6
上司からの紹介	18,949	0.046	0.209	0	1
仕事上の取引先からの紹介	18,949	0.034	0.182	0	1
同僚からの紹介	18,949	0.139	0.346	0	1
職場以外の友人からの紹介	18,949	0.196	0.397	0	1
家族や親せきからの紹介	18,949	0.072	0.258	0	1
結婚相手紹介を目的とする事業者等のイベントへの参加	18,949	0.076	0.266	0	1
お見合い経験あり（上司、家族・親せきからの紹介を除く）	18,949	0.029	0.168	0	1
マッチングアプリやインターネットの出会い系サイト	18,949	0.176	0.381	0	1
学生時代での出会い	18,949	0.226	0.418	0	1
職場での出会い	18,949	0.183	0.387	0	1
紹介や出会いはなかった	18,949	0.373	0.484	0	1
習い事	18,949	0.066	0.249	0	1
ボランティアなどの社会活動	18,949	0.040	0.197	0	1
職場の同僚・上司などでの仕事以外でのつきあい	18,949	0.235	0.424	0	1
友人とのつきあい	18,949	0.379	0.485	0	1
趣味やスポーツのクラブ活動・サークル活動	18,949	0.151	0.358	0	1
英会話や資格取得の専門学校	18,949	0.022	0.146	0	1
その他の活動	18,949	0.036	0.186	0	1
上記のような活動はなし	18,949	0.469	0.499	0	1
結婚相談所や勤め先によるお見合いや結婚相手紹介サービス	18,949	0.059	0.236	0	1
地方自治体やNPO主催による出会い事業	18,949	0.030	0.170	0	1
マッチングアプリやインターネットの出会い系サイト	18,949	0.199	0.399	0	1
交際相手との出会いを目的とするパーティーやイベント	18,949	0.111	0.315	0	1
自分の結婚観や異性のつきあい方のアドバイス・カウンセリング	18,949	0.014	0.119	0	1
その他のサービス利用あり	18,949	0.008	0.090	0	1
いずれのサービス利用もなし	18,949	0.703	0.457	0	1
男子校・女子校（中学）	18,949	0.054	0.225	0	1
男子校・女子校（高校）	18,949	0.203	0.403	0	1
男子校・女子校（大学）	18,949	0.091	0.287	0	1
男子校・女子校（ずっと共学）	18,949	0.722	0.448	0	1
同棲経験あり	18,949	0.220	0.414	0	1

表2 記述統計2 (女性の独身・既婚比較)

	独身者			既婚者		
	N	平均値	標準偏差	N	平均値	標準偏差
結婚時年齢	4,897	38.0	7.3	4,253	33.2	7.1
結婚時年齢2乗	4,897	1497.4	545.7	4,253	1149.1	508.7
学歴大卒以上	4,897	0.453	0.498	4,253	0.440	0.496
身長高い・やや高い	4,897	0.260	0.439	4,253	0.257	0.437
肥満・太り気味	4,897	0.302	0.459	4,253	0.137	0.344
長男・長女	4,897	0.623	0.485	4,253	0.627	0.484
一人子	4,897	0.142	0.349	4,253	0.080	0.272
兄弟人数	4,897	1.392	0.967	4,253	1.576	0.923
可能な家事 (掃除)	4,897	0.749	0.434	4,253	0.773	0.419
可能な家事 (洗濯)	4,897	0.834	0.372	4,253	0.821	0.384
可能な家事 (食事作り)	4,897	0.619	0.486	4,253	0.668	0.471
可能な家事 (食器洗い)	4,897	0.851	0.356	4,253	0.844	0.363
可能な家事 (買い物)	4,897	0.826	0.379	4,253	0.834	0.373
可能な家事 (整理整頓)	4,897	0.619	0.486	4,253	0.604	0.489
可能な家事 (アイロンかけ)	4,897	0.475	0.499	4,253	0.488	0.500
可能な家事 (育児)	4,897	0.134	0.340	4,253	0.158	0.365
可能な家事 (ごみの分別)	4,897	0.735	0.441	4,253	0.689	0.463
可能な家事 (子どもの送迎)	4,897	0.158	0.365	4,253	0.133	0.339
可能な家事 (介護)	4,897	0.130	0.336	4,253	0.051	0.221
可能な家事 (できる家事は1つもない)	4,897	0.051	0.221	4,253	0.054	0.226
正規社員	4,897	0.528	0.499	4,253	0.608	0.488
パート・アルバイト	4,897	0.161	0.368	4,253	0.143	0.351
派遣・嘱託・契約社員	4,897	0.125	0.330	4,253	0.105	0.306
個人業務請負・フリーランス・ギグワーカー・内職	4,897	0.039	0.194	4,253	0.014	0.116
自営業主・家族従業者	4,897	0.022	0.147	4,253	0.010	0.099
日雇い	4,897	0.001	0.025	4,253	0.001	0.034
無職・家事	4,897	0.116	0.320	4,253	0.016	0.127
学生	4,897	0.008	0.088	4,253	0.103	0.304
正規	4,897	0.528	0.499	4,253	0.608	0.488
非正規	4,897	0.326	0.469	4,253	0.263	0.440
自営	4,897	0.022	0.147	4,253	0.010	0.099
無職	4,897	0.124	0.329	4,253	0.120	0.325
税込所得 (物価調整済)	4,897	272.7	223.1	4,253	260.3	189.5
対数税込所得 (物価調整済)	4,897	4.628	2.188	4,253	4.695	2.087
これまでの仕事の経験年数	4,897	12.69	8.95	4,253	5.60	4.95
金融資産 (物価調整済)	4,897	377.8	558.3	4,253	243.3	362.3
対数金融資産 (物価調整済)	4,897	4.048	2.642	4,253	4.170	2.122
教育ローン (物価調整済)	4,897	28.8	122.4	4,253	30.4	100.1
対数教育ローン (物価調整済)	4,897	0.594	1.633	4,253	0.791	1.813
労働時間	4,897	31.2	18.5	4,253	33.8	19.9
通勤時間	4,897	28.7	24.6	4,253	29.1	23.8
早朝勤務あり (5時~8時)	4,897	0.100	0.300	4,253	0.141	0.348
夜間勤務あり (20時~22時)	4,897	0.145	0.352	4,253	0.212	0.409
深夜勤務あり (22時~翌5時)	4,897	0.084	0.277	4,253	0.123	0.328
土曜出勤あり	4,897	0.338	0.473	4,253	0.420	0.494
日曜・祝日出勤あり	4,897	0.272	0.445	4,253	0.318	0.466
その他勤務あり	4,897	0.034	0.180	4,253	0.019	0.138
平日日中の勤務のみ	4,897	0.446	0.497	4,253	0.375	0.484
転勤可能性あり	4,897	0.133	0.339	4,253	0.103	0.303



続き

	独身者			既婚者		
	N	平均値	標準偏差	N	平均値	標準偏差
希望子ども数	4,897	0.785	1.009	4,253	1.742	1.030
子ども希望せず	4,897	0.573	0.495	4,253	0.160	0.366
親と同居	4,897	0.505	0.500	4,253	0.562	0.496
15歳時点片親	4,897	0.118	0.322	4,253	0.100	0.300
15歳時点孤児	4,897	0.019	0.137	4,253	0.010	0.099
15歳時の両親仲が良い	4,897	0.455	0.498	4,253	0.543	0.498
相手への年齢希望なし	4,897	0.252	0.434	4,253	0.340	0.474
相手への年取希望なし	4,897	0.171	0.376	4,253	0.366	0.482
相手への就業希望なし	4,897	0.156	0.363	4,253	0.150	0.357
相手への学歴希望なし	4,897	0.457	0.498	4,253	0.488	0.500
相手への身長希望なし	4,897	0.358	0.479	4,253	0.312	0.463
相手への体型希望なし	4,897	0.187	0.390	4,253	0.221	0.415
相手への家事能力希望なし	4,897	0.708	0.455	4,253	0.576	0.494
職場・学校の異性人数	4,897	2.097	2.376	4,253	3.691	2.343
紹介・見合いの異性人数	4,897	1.499	2.006	4,253	1.019	1.643
上司からの紹介	4,897	0.052	0.223	4,253	0.043	0.203
仕事上の取引先からの紹介	4,897	0.037	0.190	4,253	0.026	0.160
同僚からの紹介	4,897	0.137	0.344	4,253	0.131	0.338
職場以外の友人からの紹介	4,897	0.241	0.428	4,253	0.202	0.402
家族や親せきからの紹介	4,897	0.121	0.326	4,253	0.056	0.229
結婚相手紹介を目的とする事業者等のイベントへの参加	4,897	0.108	0.311	4,253	0.089	0.284
お見合い経験あり（上司、家族・親せきからの紹介を除く）	4,897	0.043	0.203	4,253	0.029	0.167
マッチングアプリやインターネットの出会い系サイト	4,897	0.230	0.421	4,253	0.163	0.370
学生時代の出会い	4,897	0.228	0.420	4,253	0.238	0.426
職場での出会い	4,897	0.206	0.405	4,253	0.204	0.403
紹介や出会いはなかった	4,897	0.367	0.482	4,253	0.311	0.463
習い事	4,897	0.116	0.320	4,253	0.058	0.234
ボランティアなどの社会活動	4,897	0.047	0.211	4,253	0.023	0.151
職場の同僚・上司などとの仕事以外でのつきあい	4,897	0.237	0.425	4,253	0.237	0.426
友人とのつきあい	4,897	0.419	0.493	4,253	0.409	0.492
趣味やスポーツのクラブ活動・サークル活動	4,897	0.120	0.325	4,253	0.133	0.340
英会話や資格取得の専門学校	4,897	0.027	0.163	4,253	0.017	0.129
その他の活動	4,897	0.029	0.169	4,253	0.037	0.190
上記のような活動はなし	4,897	0.460	0.498	4,253	0.437	0.496
結婚相談所や勤め先によるお見合いや結婚相手紹介サービス	4,897	0.072	0.259	4,253	0.059	0.236
地方自治体やNPO主催による出会い事業	4,897	0.033	0.178	4,253	0.024	0.154
マッチングアプリやインターネットの出会い系サイト	4,897	0.254	0.436	4,253	0.167	0.373
交際相手との出会いを目的とするパーティーやイベント	4,897	0.149	0.356	4,253	0.130	0.336
自分の結婚観や異性のつきあい方のアドバイス・カウンセリング	4,897	0.012	0.109	4,253	0.008	0.086
その他のサービス利用あり	4,897	0.007	0.082	4,253	0.004	0.065
いずれのサービス利用もなし	4,897	0.648	0.478	4,253	0.716	0.451
男子校・女子校（中学）	4,897	0.056	0.230	4,253	0.056	0.230
男子校・女子校（高校）	4,897	0.227	0.419	4,253	0.219	0.414
男子校・女子校（大学）	4,897	0.140	0.347	4,253	0.138	0.344
男子校・女子校（ずっと共学）	4,897	0.664	0.472	4,253	0.683	0.465
同棲経験あり	4,897	0.049	0.216	4,253	0.396	0.489

表3 記述統計3 (男性の独身・既婚比較)

	独身者			既婚者		
	N	平均値	標準偏差	N	平均値	標準偏差
結婚時年齢	5,103	38.1	7.3	4,696	33.7	7.1
結婚時年齢2乗	5,103	1504.8	549.8	4,696	1185.5	515.0
学歴大卒以上	5,103	0.561	0.496	4,696	0.675	0.468
身長高い・やや高い	5,103	0.255	0.436	4,696	0.313	0.464
肥満・太り気味	5,103	0.312	0.463	4,696	0.182	0.386
長男・長女	5,103	0.684	0.465	4,696	0.668	0.471
一人子	5,103	0.158	0.365	4,696	0.085	0.278
兄弟人数	5,103	1.332	0.942	4,696	1.559	0.937
可能な家事 (掃除)	5,103	0.746	0.436	4,696	0.673	0.469
可能な家事 (洗濯)	5,103	0.755	0.430	4,696	0.680	0.466
可能な家事 (食事作り)	5,103	0.514	0.500	4,696	0.461	0.499
可能な家事 (食器洗い)	5,103	0.771	0.421	4,696	0.697	0.460
可能な家事 (買い物)	5,103	0.792	0.406	4,696	0.670	0.470
可能な家事 (整理整頓)	5,103	0.562	0.496	4,696	0.482	0.500
可能な家事 (アイロンかけ)	5,103	0.304	0.460	4,696	0.280	0.449
可能な家事 (育児)	5,103	0.131	0.338	4,696	0.105	0.307
可能な家事 (ごみの分別)	5,103	0.692	0.462	4,696	0.564	0.496
可能な家事 (子どもの送迎)	5,103	0.225	0.417	4,696	0.107	0.309
可能な家事 (介護)	5,103	0.115	0.319	4,696	0.028	0.165
可能な家事 (できる家事は1つもない)	5,103	0.077	0.267	4,696	0.089	0.284
正規社員	5,103	0.595	0.491	4,696	0.814	0.389
パート・アルバイト	5,103	0.098	0.298	4,696	0.029	0.167
派遣・嘱託・契約社員	5,103	0.071	0.256	4,696	0.025	0.156
個人業務請負・フリーランス・ギグワーカー・内職	5,103	0.044	0.206	4,696	0.009	0.095
自営業主・家族従業者	5,103	0.058	0.234	4,696	0.017	0.130
日雇い	5,103	0.002	0.044	4,696	0.001	0.033
無職・家事	5,103	0.125	0.331	4,696	0.005	0.070
学生	5,103	0.007	0.083	4,696	0.100	0.300
正規	5,103	0.595	0.491	4,696	0.814	0.389
非正規	5,103	0.215	0.411	4,696	0.064	0.244
自営	5,103	0.058	0.234	4,696	0.017	0.130
無職	5,103	0.132	0.339	4,696	0.105	0.306
税込所得 (物価調整済)	5,103	336.7	267.4	4,696	394.8	253.2
対数税込所得 (物価調整済)	5,103	4.801	2.282	4,696	5.180	2.105
これまでの仕事の経験年数	5,103	11.97	8.92	4,696	5.73	5.00
金融資産 (物価調整済)	5,103	407.9	590.5	4,696	272.3	419.2
対数金融資産 (物価調整済)	5,103	4.088	2.680	4,696	4.212	2.168
教育ローン (物価調整済)	5,103	35.2	133.2	4,696	58.3	150.9
対数教育ローン (物価調整済)	5,103	0.747	1.790	4,696	1.302	2.226
労働時間	5,103	33.7	20.2	4,696	40.3	21.5
通勤時間	5,103	28.3	25.7	4,696	30.3	24.3
早朝勤務あり (5時~8時)	5,103	0.146	0.353	4,696	0.179	0.383
夜間勤務あり (20時~22時)	5,103	0.182	0.386	4,696	0.249	0.433
深夜勤務あり (22時~翌5時)	5,103	0.145	0.352	4,696	0.182	0.386
土曜出勤あり	5,103	0.337	0.473	4,696	0.358	0.479
日曜・祝日出勤あり	5,103	0.280	0.449	4,696	0.288	0.453
その他勤務あり	5,103	0.050	0.217	4,696	0.032	0.175
平日日中の勤務のみ	5,103	0.402	0.490	4,696	0.394	0.489
転勤可能性あり	5,103	0.231	0.422	4,696	0.302	0.459

続き

	独身者			既婚者		
	N	平均値	標準偏差	N	平均値	標準偏差
希望子ども数	5,103	1.006	1.084	4,696	1.880	0.940
子ども希望せず	5,103	0.454	0.498	4,696	0.097	0.296
親と同居	5,103	0.499	0.500	4,696	0.374	0.484
15歳時点片親	5,103	0.110	0.313	4,696	0.085	0.279
15歳時点孤児	5,103	0.040	0.195	4,696	0.021	0.144
15歳時の両親仲が良い	5,103	0.481	0.500	4,696	0.587	0.492
相手への年齢希望なし	5,103	0.357	0.479	4,696	0.398	0.490
相手への年取希望なし	5,103	0.566	0.496	4,696	0.700	0.459
相手への就業希望なし	5,103	0.631	0.483	4,696	0.642	0.479
相手への学歴希望なし	5,103	0.701	0.458	4,696	0.686	0.464
相手への身長希望なし	5,103	0.724	0.447	4,696	0.707	0.455
相手への体型希望なし	5,103	0.280	0.449	4,696	0.296	0.457
相手への家事能力希望なし	5,103	0.491	0.500	4,696	0.519	0.500
職場・学校の異性人数	5,103	1.729	2.181	4,696	3.454	2.269
紹介・見合いの異性人数	5,103	0.946	1.724	4,696	1.053	1.722
上司からの紹介	5,103	0.040	0.195	4,696	0.047	0.213
仕事上の取引先からの紹介	5,103	0.034	0.183	4,696	0.039	0.193
同僚からの紹介	5,103	0.113	0.316	4,696	0.176	0.381
職場以外の友人からの紹介	5,103	0.155	0.362	4,696	0.190	0.392
家族や親せきからの紹介	5,103	0.064	0.245	4,696	0.044	0.205
結婚相手紹介を目的とする事業者等のイベントへの参加	5,103	0.043	0.202	4,696	0.069	0.253
お見合い経験あり（上司、家族・親せきからの紹介を除く）	5,103	0.021	0.145	4,696	0.023	0.151
マッチングアプリやインターネットの出会い系サイト	5,103	0.147	0.355	4,696	0.162	0.369
学生時代の出会い	5,103	0.190	0.392	4,696	0.252	0.434
職場での出会い	5,103	0.140	0.347	4,696	0.187	0.390
紹介や出会いはなかった	5,103	0.506	0.500	4,696	0.290	0.454
習い事	5,103	0.044	0.204	4,696	0.048	0.213
ボランティアなどの社会活動	5,103	0.051	0.220	4,696	0.038	0.191
職場の同僚・上司などとの仕事以外でのつきあい	5,103	0.213	0.410	4,696	0.255	0.436
友人とのつきあい	5,103	0.318	0.466	4,696	0.375	0.484
趣味やスポーツのクラブ活動・サークル活動	5,103	0.143	0.350	4,696	0.208	0.406
英会話や資格取得の専門学校	5,103	0.023	0.150	4,696	0.019	0.137
その他の活動	5,103	0.038	0.190	4,696	0.040	0.196
上記のような活動はなし	5,103	0.544	0.498	4,696	0.423	0.494
結婚相談所や勤め先によるお見合いや結婚相手紹介サービス	5,103	0.052	0.221	4,696	0.055	0.228
地方自治体やNPO主催による出会い事業	5,103	0.029	0.169	4,696	0.032	0.175
マッチングアプリやインターネットの出会い系サイト	5,103	0.192	0.394	4,696	0.178	0.383
交際相手との出会いを目的とするパーティーやイベント	5,103	0.070	0.254	4,696	0.101	0.301
自分の結婚観や異性のつきあい方のアドバイス・カウンセリング	5,103	0.017	0.129	4,696	0.020	0.141
その他のサービス利用あり	5,103	0.009	0.096	4,696	0.012	0.110
いずれのサービス利用もなし	5,103	0.738	0.440	4,696	0.710	0.454
男子校・女子校（中学）	5,103	0.048	0.214	4,696	0.055	0.228
男子校・女子校（高校）	5,103	0.184	0.388	4,696	0.185	0.389
男子校・女子校（大学）	5,103	0.044	0.205	4,696	0.047	0.212
男子校・女子校（ずっと共学）	5,103	0.766	0.424	4,696	0.767	0.422
同棲経験あり	5,103	0.033	0.178	4,696	0.441	0.497

婦仲が良い割合は既婚者の方がやや高い。相手への希望条件については、やはり全体として、既婚者の方が気にしない割合が高い。マッチング環境・経路に関する変数は、それぞれまちまちであり、全体的な傾向はみて取れない。同棲経験の割合については女性と同様、既婚者が顕著に高くなっている。

### 3 回帰分析

#### (1) 女性

以上、さまざまな変数を独身者・既婚者間で比較してきたが、これらが最終的に結婚の決定要因であるかどうかは、諸変数を同時にコントロールした上で、統計的に変数が有意になるかどうかで判断する必要がある。そこで、プロビットモデルを用いた回帰分析を行った。なお、独身者と既婚者の割合は、データの設計上、ほぼ同数ずつになるようにサンプリングしているが、現実異なる。そこで、2020年の『国勢調査』の男女別・年齢階級別未婚率を用いて、サンプリング・ウェイトを修正した推定を行った<sup>9)</sup>。女性についての

推定結果は表4の通りである。

まず、供給面であるが、年齢については1乗項、2乗項ともに有意であり、年齢が高まるほど、結婚確率が増えるが、その増え方は年齢が高まるほど小さくなってゆく。外見については、肥満・太り気味が負で有意であり、限界効果は10.2%と大きい。また、長女は結婚確率が高まるが、一人子の場合には7.5%も結婚確率が低くなる。可能な家事については、掃除や食事作り、買い物、アイロンかけ、育児ができると結婚確率が高まっており、やはり家事能力が女性の魅力を高めていることがわかる。もっとも、整理整頓や子どもの送迎、介護については結婚確率が低くなっており、この点はやや解釈が難しい<sup>10)</sup>。雇用形態については、無職に比べ、正規や自営の場合に有意に結婚確率が高まる。非正規については無職と有意な差がない。男性に関する先行研究が指摘してきた正規・非正規間の結婚格差は、女性にも当てはまると考えられる<sup>11)</sup>。

需要面として、機会費用に関連する変数については、やはり大卒以上の学歴の場合に、5.6%結

表4 結婚の決定要因に関する推計1(女性)

	係数	標準誤差	限界効果	標準誤差
結婚時年齢	0.332***	0.031	0.068***	0.006
結婚時年齢2乗	-0.004***	0.000	-0.001***	0.000
学歴大卒以上	-0.272***	0.043	-0.056***	0.009
身長高い・やや高い	-0.009	0.042	-0.002	0.009
肥満・太り気味	-0.494***	0.048	-0.102***	0.010
長男・長女	0.105***	0.040	0.022***	0.008
一人子	-0.363***	0.061	-0.075***	0.012
可能な家事(掃除)	0.120**	0.060	0.025**	0.012
可能な家事(洗濯)	-0.058	0.066	-0.012	0.014
可能な家事(食事作り)	0.172***	0.048	0.036***	0.010
可能な家事(食器洗い)	0.030	0.070	0.006	0.014
可能な家事(買い物)	0.111*	0.065	0.023*	0.013
可能な家事(整理整頓)	-0.125**	0.052	-0.026**	0.011
可能な家事(アイロンかけ)	0.117***	0.046	0.024***	0.010
可能な家事(育児)	0.285***	0.086	0.059***	0.018
可能な家事(ごみの分別)	-0.065	0.054	-0.013	0.011
可能な家事(子どもの送迎)	-0.489***	0.083	-0.101***	0.017
可能な家事(介護)	-0.450***	0.077	-0.093***	0.016
正規	0.232**	0.120	0.048**	0.025
非正規	0.154	0.110	0.032	0.023
自営	0.423**	0.181	0.087**	0.037
対数税込所得(物価調整済)	0.070***	0.018	0.014***	0.004
これまでの仕事の経験年数	-0.096***	0.004	-0.020***	0.001

続き

	係数	標準誤差	限界効果	標準誤差
対数金融資産（物価調整済）	0.047***	0.009	0.010***	0.002
対数教育ローン（物価調整済）	-0.001	0.011	0.000	0.002
労働時間	0.006***	0.001	0.001***	0.000
通勤時間	-0.000006	0.000966	-0.000001	0.000199
早朝勤務あり（5時～8時）	0.101	0.074	0.021	0.015
夜間勤務あり（20時～22時）	0.120*	0.066	0.025*	0.014
深夜勤務あり（22時～翌5時）	-0.094	0.094	-0.019	0.019
土曜出勤あり	0.168***	0.059	0.035***	0.012
日曜・祝日出勤あり	-0.072	0.062	-0.015	0.013
転勤可能性あり	-0.433***	0.061	-0.089***	0.012
希望子ども数	0.399***	0.020	0.082***	0.004
親と同居	0.331***	0.042	0.068***	0.009
15歳時点片親	-0.073	0.063	-0.015	0.013
15歳時点孤児	-0.793***	0.180	-0.163***	0.037
15歳時の両親仲が良い	0.075*	0.041	0.015*	0.008
相手への年齢希望なし	0.342***	0.051	0.071***	0.010
相手への年収希望なし	0.779***	0.057	0.160***	0.011
相手への就業希望なし	-0.458***	0.069	-0.094***	0.014
相手への学歴希望なし	-0.053	0.045	-0.011	0.009
相手への身長希望なし	-0.208***	0.048	-0.043***	0.010
相手への体型希望なし	0.204***	0.056	0.042***	0.012
相手への家事能力希望なし	-0.230***	0.041	-0.047***	0.008
職場・学校の異性人数	0.168***	0.008	0.035***	0.002
紹介・見合いの異性人数	-0.077***	0.013	-0.016***	0.003
上司からの紹介	0.131	0.090	0.027	0.019
仕事上の取引先からの紹介	0.051	0.116	0.010	0.024
同僚からの紹介	0.263***	0.060	0.054***	0.012
職場以外の友人からの紹介	0.005	0.052	0.001	0.011
家族や親せきからの紹介	0.077	0.075	0.016	0.015
結婚相手紹介を目的とする事業者等のイベントへの参加	0.258***	0.081	0.053***	0.017
お見合い経験あり（上司、家族・親せきからの紹介を除く）	0.078	0.113	0.016	0.023
マッチングアプリやインターネットの出会い系サイト	-0.181***	0.066	-0.037***	0.014
学生時代の出会い	-0.130***	0.049	-0.027***	0.010
職場での出会い	-0.087*	0.051	-0.018*	0.011
習い事	-0.266***	0.073	-0.055***	0.015
ボランティアなどの社会活動	-0.252**	0.105	-0.052**	0.022
職場の同僚・上司などとの仕事以外でのつきあい	-0.264***	0.050	-0.054***	0.010
友人とのつきあい	-0.081*	0.044	-0.017*	0.009
趣味やスポーツのクラブ活動・サークル活動	0.129**	0.061	0.027**	0.012
英会話や資格取得の専門学校	-0.136	0.134	-0.028	0.028
結婚相談所や勤め先によるお見合いや結婚相手紹介サービス	0.324***	0.088	0.067***	0.018
地方自治体やNPO主催による出会い事業	0.152	0.113	0.031	0.023
マッチングアプリやインターネットの出会い系サイト	-0.299***	0.065	-0.062***	0.013
交際相手との出会いを目的とするパーティーやイベント	0.278***	0.066	0.057***	0.014
自分の結婚観や異性のつきあい方のアドバイス・カウンセリング	-0.336	0.214	-0.069	0.044
男子校・女子校（中学）	-0.096	0.085	-0.020	0.018
男子校・女子校（高校）	0.166***	0.054	0.034***	0.011
男子校・女子校（大学）	0.130**	0.055	0.027**	0.011
同棲経験あり	1.339***	0.057	0.276***	0.010
定数項	-8.611***	0.580		

注：プロビットモデルによる推定。都道府県ダミーの推定結果は省略。2020年『国勢調査』の年齢別未婚率・既婚率を使ってウェイトを修正。標準誤差はRobust standard errorを用いている。N=9150。Pseudo R2は0.4561。\*\*\*が1%基準で有意、\*\*が5%基準で有意、\*が10%基準で有意である。

婚確率が低くなる。また、年齢をコントロールした上でも、これまでの仕事の経験年数が長いほど、結婚確率が低くなる。先行研究と同じように、女性の場合には、機会費用仮説が一定の説明力を持っていると思われる。ただ、所得や金融資産については正で有意となっており、これは機会費用よりも、結婚需要を高める所得効果の方が大きく出ているとみることができる。時間的制約については、労働時間が長いほど、夜間勤務がある場合、土曜出勤がある場合に、むしろ結婚確率が高くなる結果であり、通勤時間も有意ではないことから、仮説と矛盾している。また、女性の場合にも、転勤可能性は結婚確率に負の影響を与えており、限界効果は8.9%と大きい。女性就業率が高くなっている現在、転勤可能性は女性にとっても結婚の障害である。希望子ども数については予想通り、結婚確率を有意に高めている。注目されるのは、親との同居であり、正に有意な結果である。パラサイト・シングル仮説とは明らかに矛盾する結果であり、鈴木（2024a）や森田（2008）の結果と整合的である。両親のデモンストレーション効果については、15歳時点で両親ともいない場合に結婚確率が低くなるが、片親の場合には統計的な有意差はない。また、両親仲が良い場合には、10%基準であるが、結婚確率が1.5%上昇する。結婚相手への希望条件については、年齢や年収、体型への希望がない場合に、結婚確率が高まっている。やはり、結婚相手に対する希望条件が寛容な方が、候補対象者が多く、マッチングがしやすくなるということであろう。もっとも、就業や身長、家事能力への希望がない場合には結婚確率が下がっている点はやや解釈が難しい。

最後に、マッチング環境・経路についての諸変数である。まず、職場・学校で毎日顔を合わせる独身の異性の数が多いほど結婚確率が高まっている。一方、紹介や見合いを勧められた人数については、それが多いほど逆に結婚確率が下がる<sup>12)</sup>。紹介・出会いに関しては、同僚からの紹介や結婚相手紹介を目的とする事業者等のイベントに参加した場合に、結婚確率が有意に高まっている。一方、マッチング・アプリやインターネットの出会い系サイトを利用した場合や、学生時代の出会い

い、職場での出会いの場合には結婚確率が下がる<sup>13)</sup>。結婚に至らず、交際関係が終わってしまうということであろうか。出会いの可能性のある諸活動については、結婚確率上昇に寄与するのは趣味やスポーツのクラブ活動・サークル活動のみである。結婚サービスの利用については、結婚相談所や勤め先によるお見合いや結婚相手紹介サービス、交際相手との出会いを目的とするパーティーやイベントを利用する場合に、結婚確率が高まる。それぞれ、限界効果は6.7%と5.7%とかなり高い。一方で、マッチング・アプリやインターネットの出会い系サイトが提供するサービスを利用する場合には結婚確率は下がる。その他、高校、大学の女子校出身者は予想に反して結婚確率が高くなっている。女子校の多くは私立学校であることから、もしかすると、これは実家の豊かさを表す代理変数になった可能性がある。同棲経験については予想通り、結婚確率を大きく高めている。以上の結果は、鈴木（2024a）と共通するものが多い。

## (2) 男性

表5は、男性の推定結果である。供給面であるが、女性同様、年齢の1乗項、2乗項が有意である。外見に関しては女性と同様、肥満・太り気味が負で有意であるが、男性の場合、身長高い・やや高い場合に2.3%結婚確率が高まる。長男は意外にも有意とならなかった。一人子については女性と同様、負で有意であり、6.9%結婚確率が下がる。可能な家事については、アイロンかけだけが正に有意であり、そのほかは有意でないか、負に有意な結果となっている。いろいろな家事ができると、男性としての魅力が逆になくなるということであろうか。雇用形態については、無職に比べ、正規の場合に結婚確率が6.9%高まる一方、非正規の場合には7.9%も結婚確率が低くなる。自営は無職と有意な差がない。正規と非正規の間に大きな結婚格差がある点は、先行研究の結果と共通するところである。大卒以上の学歴や金融資産は有意ではないが、これまでの仕事の経験年数だけは、女性と同様、負で有意な結果である。所得についても女性と同じで、正で有意である。さ

表5 結婚の決定要因に関する推計2 (男性)

	係数	標準誤差	限界効果	標準誤差
結婚時年齢	0.310***	0.031	0.060***	0.006
結婚時年齢 2 乗	-0.003***	0.000	-0.001***	0.000
学歴大卒以上	-0.052	0.042	-0.010	0.008
身長高い・やや高い	0.121***	0.040	0.023***	0.008
肥満・太り気味	-0.287***	0.043	-0.055***	0.008
長男・長女	-0.007	0.041	-0.001	0.008
一人子	-0.358***	0.059	-0.069***	0.011
可能な家事 (掃除)	0.056	0.054	0.011	0.010
可能な家事 (洗濯)	-0.162***	0.057	-0.031***	0.011
可能な家事 (食事作り)	-0.119***	0.044	-0.023***	0.008
可能な家事 (食器洗い)	-0.054	0.057	-0.010	0.011
可能な家事 (買い物)	-0.230***	0.055	-0.044***	0.011
可能な家事 (整理整頓)	0.000	0.047	0.000	0.009
可能な家事 (アイロンかけ)	0.218***	0.048	0.042***	0.009
可能な家事 (育児)	0.199**	0.080	0.038**	0.015
可能な家事 (ごみの分別)	-0.069	0.048	-0.013	0.009
可能な家事 (子どもの送迎)	-0.636***	0.066	-0.122***	0.012
可能な家事 (介護)	-0.759***	0.096	-0.146***	0.018
正規	0.360***	0.133	0.069***	0.025
非正規	-0.412***	0.123	-0.079***	0.023
自営	-0.038	0.153	-0.007	0.029
対数税込所得 (物価調整済)	0.078***	0.019	0.015***	0.004
これまでの仕事の経験年数	-0.097***	0.004	-0.019***	0.001
対数金融資産 (物価調整済)	0.004	0.008	0.001	0.002
対数教育ローン (物価調整済)	0.020**	0.010	0.004**	0.002
労働時間	0.009***	0.001	0.002***	0.000
通勤時間	-0.000244	0.000905	-0.000047	0.000174
早朝勤務あり (5時~8時)	0.046	0.066	0.009	0.013
夜間勤務あり (20時~22時)	0.092	0.069	0.018	0.013
深夜勤務あり (22時~翌5時)	0.105	0.074	0.020	0.014
土曜出勤あり	-0.099	0.064	-0.019	0.012
日曜・祝日出勤あり	0.051	0.067	0.010	0.013
転勤可能性あり	-0.140***	0.046	-0.027***	0.009
希望子ども数	0.410***	0.021	0.079***	0.004
親と同居	-0.160***	0.042	-0.031***	0.008
15歳時点片親	0.013	0.071	0.003	0.014
15歳時点孤児	-0.571***	0.116	-0.110***	0.022
15歳時の両親仲が良い	0.080**	0.041	0.015**	0.008
相手への年齢希望なし	0.221***	0.044	0.042***	0.008
相手への年収希望なし	0.631***	0.051	0.121***	0.009
相手への就業希望なし	-0.069	0.052	-0.013	0.010
相手への学歴希望なし	-0.047	0.049	-0.009	0.009
相手への身長希望なし	-0.034	0.046	-0.006	0.009
相手への体型希望なし	0.095**	0.048	0.018**	0.009
相手への家事能力希望なし	0.158***	0.039	0.030***	0.007
職場・学校の異性人数	0.178***	0.009	0.034***	0.001
紹介・見合いの異性人数	-0.061***	0.014	-0.012***	0.003
上司からの紹介	0.026	0.096	0.005	0.019
仕事上の取引先からの紹介	0.205*	0.114	0.039*	0.022
同僚からの紹介	0.148**	0.060	0.028**	0.011
職場以外の友人からの紹介	0.178***	0.054	0.034***	0.010
家族や親せきからの紹介	0.026	0.083	0.005	0.016

	係数	標準誤差	限界効果	標準誤差
結婚相手紹介を目的とする事業者等のイベントへの参加	0.470***	0.093	0.090***	0.018
お見合い経験あり（上司、家族・親せきからの紹介を除く）	0.022	0.130	0.004	0.025
マッチングアプリやインターネットの出会い系サイト	-0.038	0.065	-0.007	0.012
学生時代の出会い	-0.036	0.049	-0.007	0.009
職場での出会い	0.055	0.056	0.011	0.011
習い事	0.014	0.093	0.003	0.018
ボランティアなどの社会活動	-0.295***	0.098	-0.057***	0.019
職場の同僚・上司などとの仕事以外でのつきあい	-0.227***	0.050	-0.044***	0.010
友人とのつきあい	-0.048	0.047	-0.009	0.009
趣味やスポーツのクラブ活動・サークル活動	0.103**	0.052	0.020**	0.010
英会話や資格取得の専門学校	-0.240*	0.135	-0.046*	0.026
結婚相談所や勤め先によるお見合いや結婚相手紹介サービス	0.345***	0.093	0.066***	0.018
地方自治体やNPO主催による出会い事業	-0.100	0.124	-0.019	0.024
マッチングアプリやインターネットの出会い系サイト	-0.278***	0.062	-0.053***	0.012
交際相手との出会いを目的とするパーティーやイベント	0.283***	0.081	0.054***	0.016
自分の結婚観や異性のつきあい方のアドバイス・カウンセリング	-0.242*	0.146	-0.047*	0.028
男子校・女子校（中学）	0.040	0.095	0.008	0.018
男子校・女子校（高校）	0.110**	0.053	0.021**	0.010
男子校・女子校（大学）	-0.138	0.096	-0.027	0.018
同棲経験あり	1.612***	0.062	0.310***	0.010
定数項	-7.971***	0.587		

注：プロビットモデルによる推定。都道府県ダミーの推定結果は省略。2020年「国勢調査」の年齢別未婚率・既婚率を使ってウェイトを修正。標準誤差はRobust standard errorを用いている。N=9799。Pseudo R2は0.5068。\*\*\*が1%基準で有意、\*\*が5%基準で有意、\*が10%基準で有意である。

らに女性と同様、労働時間も正に有意である。通勤時間や平日の日中以外の勤務形態は有意ではなく、時間的制約仮説とは矛盾する結果と言える。転勤可能性については女性同様、やはり結婚確率を低下させる。希望子ども数も女性と同様、結婚確率を高める。親との同居については、女性の場合とは逆で、負で有意な結果であり、山田(1999)のパラサイト・シングル仮説と整合的と言える。両親のデモンストレーション効果については、やはり女性の場合と同様、15歳時点で両親ともいない場合に結婚確率が低くなり、片親の場合は有意ではない。また、15歳時点で両親仲が良い場合には、結婚確率が1.5%上昇する。結婚相手への条件については、年齢や年収、体型、家事能力への希望がない場合に、結婚確率が高まっている。男性の場合も女性と同様、結婚相手への希望条件が寛容な方がマッチングしやすいものと思われる。

マッチング環境・経路の諸変数についても、女性の場合と類似している。すなわち、職場・学校で毎日顔を合わせる独身の異性数が多いほど結婚

確率が高まり、紹介や見合いを勧められた人数が多いほど結婚確率が下がる。紹介・出会いについても、同僚からの紹介や結婚相手紹介を目的とする事業者等のイベントに参加した場合に結婚確率が高まる。加えて、男性の場合には、仕事上の取引先からの紹介や職場以外の友人からの紹介が正に有意である。出会いの可能性のある活動についても女性と同様に、趣味やスポーツのクラブ活動・サークル活動のみが正の効果を持つ。結婚サービスの利用については、結婚相談所や勤め先によるお見合いや結婚相手紹介サービス、交際相手との出会いを目的とするパーティーやイベントを利用する場合に、女性と同様、結婚確率が高まる。マッチング・アプリやインターネットの出会い系サイトが提供するサービスの利用をしている場合に結婚確率が下がることも女性と同様である。その他、男子校出身者（高校）が結婚確率を高めており、女性の推定結果で論じたように、実家の豊かさの代理指標となった可能性がある。同棲経験も女性と同様、結婚確率を大きく高める。



## V 結 語

本稿は、内閣府経済社会総合研究所が2024年に企画・実施した「[「少子化・女性活躍の経済学研究」に向けたアンケート調査]」を用いて、男女別に結婚の決定要因を分析した。このデータは、個人属性や結婚の環境・意識に関し、数多くの変数を有していることが特徴である。また、既婚者分は配偶者との交際当時の状況を振り返るデータとなっており、独身者と既婚者が比較可能になるように設計されている。

プロビットモデルの推定結果からは、男女ともに、供給面、需要面、マッチング環境・経路のそれぞれについて、実に数多くの変数が結婚に影響することがわかった。これらの変数に作用する政策を立案すれば、実効性が高い未婚対策（結婚支援策）になる可能性が高い<sup>14)</sup>。また、本稿は男女とも同じフレームワークで分析しているが、男女間で共通する結婚の決定要因が驚くほど多いことがわかった。主なものを挙げると、体型、一人子、雇用形態、所得、仕事の経験年数、労働時間、転勤可能性、希望子ども数、両親のデモンストレーション効果、結婚相手への希望条件（の寛容さ）などである。また、マッチング環境・経路が結婚に与える影響についても、職場・学校で毎日顔を合わせる独身の異性数が多いこと、同僚からの紹介、結婚相手紹介を目的とする事業者等のイベントに参加した場合、趣味やスポーツのクラブ活動・サークル活動に参加した場合、結婚相談所や勤め先によるお見合いや結婚相手紹介サービスの利用経験がある場合、交際相手との出会いを目的とするパーティーやイベントの利用経験がある場合、同棲経験がある場合などで、男女とも結婚確率が高まることがわかった。これらのエビデンスを用いた未婚対策については、男女間で施策を区別する必要がないということであるから、施策の実現性が特に高まるものと思われる。

一方、男女間で効果が異なる変数もある。主なものは、学歴、身長、長子、親との同居などである。先行研究の諸仮説については、女性の機会費用仮説は概ね支持されているが、時間的制約仮説

は男女ともに整合的な結果が得られなかった。また、パラサイト・シングル仮説については、男性のみが整合的であり、女性の場合には支持されていない。いずれにせよ、今後、政府の少子化対策に実効性を持たせるためには、未婚対策に本腰を入れることが必要となるだろう。本稿のような包括的な実証研究が数多く行われ、何をすれば結婚確率が高くなるのか、多くのエビデンスが積み上げられ、効果的な政策が立案されることに期待したい。

謝辞 貴重な研究機会を与えてくれた内閣府経済社会総合研究所に感謝する。また、少子化・女性活躍の経済学研究研究会のメンバーには、「[「少子化・女性活躍の経済学研究」に向けたアンケート調査]」の調査票を共同で作上げる過程等で、さまざまな知的貢献をいただいた。八代尚宏・昭和女子大学特命教授、大沢真知子・日本女子大学名誉教授、樋口美雄・慶應義塾大学名誉教授、労働政策研究・研修機構顧問からは有益なコメントもいただいた。感謝申し上げたい。なお、本稿の主張は筆者ら個人に属するものであり、所属機関を代表するものではない。

- 1) 鈴木 (2024a) の主な結論は下記の通りである。肥満、容姿の悪さ、持病がある場合に、結婚確率が低下する。飲酒、パチンコ・パチスロ、ケチといった習慣も結婚確率を下げる。正規社員の結婚確率が最も高く、パート・アルバイト、派遣・嘱託・契約社員の順に下がる。大卒以上の学歴の場合や仕事の継続年数が高まるほど、結婚確率が低下する。往復の通勤時間が長いほど、夜7時以降・朝9時以前の就業時間が長いほど、結婚確率が低くなる。両親が恋愛結婚している場合に結婚確率が高まり、母親に離婚経験があると結婚確率は低くなる。毎日顔を合わせる独身の異性の数が多いほど、職場や学校以外で独身の異性と会う機会が多いほど、結婚確率が高まる。
- 2) もっとも、交際相手の有無を研究した鈴木 (2024b, 2024c) では女性と男性の両方の分析をしている。2009年の追跡調査も追加し、サンプル数も若干多くなっている。
- 3) 株式会社サーベイリサーチセンターが調査を実施した。
- 4) 熊本県の既婚男性の25-29歳のサンプルのみ、目標数に対して1サンプルが不足したために、九州エリアの既婚男性25-29歳からランダムに選んで補填している。
- 5) 全回答者について、合計回答時間を回答した問数で割って1問当たりの回答時間を算出し、既婚・未婚別、男女別、年齢階級別に平均をとって、その1/2を下回る回答者を除外した。
- 6) 基本的には、独身者と比較する変数は交際開始前や交際開始時の状況が望ましいが、労働時間や収入などは人生の区切り時点の方が、記憶が正確であると考え、結婚決定時について尋ねた。
- 7) 所得や資産、教育ローン、これまでの仕事の経験年数、労働時間などの連続変数は、階級内の値の中間値を使って、連続変数化している（ただし、上限と下限はそのままの値を用いている）。それ以外の変数は基本的に、該当が1、それ以外が0となるダミー変数である。
- 8) 本来は両者の平均年齢を近づけて比較すべきかもしれないが、本稿のメインの分析であるプロビットモデルの推定では、年齢、年齢の2乗をコントロールして分析することになるので、特に年齢は調整をせずに分析を進めた。

- 9) 『令和5年版厚生労働白書』の図表1-1-9による。不詳補完値である。
- 10) もしかすると、子どもの送迎や介護については、現在、ケアを行わなければならない状況下にいることを意味しているのかもしれない。
- 11) もっとも女性における結婚格差の存在は、2008年のデータを分析した鈴木(2024a)でも既に示されている。これは二通りの解釈が考えられる。1つは、安定的な職についているほど、結婚後の生活安定が展望できるために、結婚需要が高まることである。もう1つは、今や共働きが当たり前の社会であるから、男性からみても安定的な職を持つ女性が魅力的である可能性もある。
- 12) これは内生性の問題があるからかもしれない。つまり、結婚が難しそうな人ほど、紹介やお見合いとして勧められる人の数が多くなる、あるいはお見合いがうまくいかないことで結果的にその回数が増えるというような逆の因果関係が存在する可能性がある。マッチングの環境・経路に関する諸変数は、多かれ少なかれ内生性の可能性があるために、解釈には一定の留意が必要であろう。
- 13) マッチング・アプリやインターネットの出会い系サイトについては、鈴木(2024a)でも負の効果がみられている。
- 14) 例えば、転勤がない雇用形態の普及を推奨したり、非正規労働者の雇用・収入の安定化策、結婚相手への希望条件があまり高くなりすぎないように、独身者に正しい情報提供を行うなどの施策が考えられる。また、マッチング環境・経路の中でも、特に効果があるものについては、政府が参加料の一部を補助することなどが考えられる。

#### 参考文献

- 岩澤美帆・三田房美(2005)「職縁結婚の盛衰と未婚化の進展」『日本労働研究雑誌』No. 535, pp. 16-28.
- 北村行伸・坂本和靖(2007)「世代間関係から見た結婚行動」『経済研究』Vol. 58, No. 1, pp. 31-46.
- 酒井正・樋口美雄(2005)「フリーターのその後——就業・所得・結婚・出産」『日本労働研究雑誌』No. 535, pp. 29-41.
- 佐々木昇一(2012)「結婚市場における格差問題に関する実証分析——男性の非正規就業が実際行動や独身継続に与える影響」『日本労働研究雑誌』No. 620, pp. 93-106.
- 鈴木亘(2024a)「日本人女性の独身者と既婚者を分かつものは何か?——独身者データと既婚者の振り返りデータによる結婚の決定要因の分析」『学習院大学 経済論集』第60巻第4号, pp. 291-315.
- (2024b)「日本人女性における結婚候補の交際相手の有無に関する統計分析」『学習院大学 経済論集』第61巻第1号,

pp. 51-75.

- (2024c)「日本人男性における結婚候補の交際相手の有無に関する統計分析」『学習院大学 経済論集』第61巻第1号, pp. 77-99.
- 高山憲之・小川浩・吉田浩・有田富美子・金子能宏・小島克久(2000)「結婚・育児の経済コストと出生力——少子化の経済学的要因に関する一考察」『人口問題研究』第56巻第4号, pp. 1-18.
- 内閣府(2023)『経済財政白書——動き始めた物価と賃金(令和5年版)』.
- 永瀬伸子(2002)「若年層の雇用の非正規化と結婚行動」『人口問題研究』第58巻第2号, pp. 22-35.
- 中村真由美・佐藤博樹(2010)「なぜ恋人にめぐり合えないのか?——経済的要因・出会いの経路・対人関係能力の側面から」佐藤博樹・永井暁子・三輪哲編著『結婚の壁——非婚・晩婚の構造』第3章, 勁草書房.
- 樋口美雄・阿部正浩(1999)「経済変動と女性の結婚・出産・就業のタイミング」樋口美雄・岩田正美編著『パネルデータからみた現代女性——結婚・出産・就業・消費・貯蓄』pp. 25-65, 東洋経済新報社.
- 松田茂樹・佐々木尚之・高村静・大澤朗子・小野田社・藤澤美穂・上村秀紀・石田絢子(2015)「少子化と未婚女性の生活環境に関する分析——出生動向基本調査と「未婚男女の結婚と仕事に関する意識調査」の個票を用いて」ESRI Discussion Paper No. 323.
- 水落正明(2006)「学卒直後の雇用状態が結婚タイミングに与える影響」『生活経済学研究』22-23巻, pp. 167-176.
- 森田陽子(2008)「女性の初婚確率の決定要因の分析について——父親の所得か夫の所得か」『オイコノミカ』第45巻第2号, pp. 25-40.
- 八代尚宏(1993)『結婚の経済学——結婚とは人生における最大の投資』二見書房.
- 山田昌弘(1999)『パラサイト・シングルの時代』筑摩書房.
- Becker, Gary (1973) "A Theory of Marriage Part I," *Journal of Political Economy*, Vol. 81, No. 4, pp. 813-846.

すずき・わたる 学習院大学経済学部教授。主著に『経済学者 日本の再貧困地域に挑む——あいりん改革3年8カ月の全記録』(東洋経済新報社, 2016年)。社会保障論, 医療経済学, 社会福祉の経済学専攻。  
こじま・そういちろう 内閣府経済社会総合研究所上席主任研究官。